

# オイスカ高等学校 浜と松プロジェクト

高校生ボランティア・アワード2020

## 市の名称である 「浜」と「松」の保全活動

## 災害に強い 美しい海岸林へ



### 課題・難題に直面！

### ①浜松市の観光スポット「日本三大砂丘」中田島砂丘の再生、保全

私たちが住む浜松市には、日本三大砂丘のひとつと言われる「中田島砂丘」があります。ここにしかない自然環境、景観があります。風によって砂上に風紋という波の縞模様ができ、浜松祭りの凧揚げ会場やウミガメの産卵地としても有名です。海岸湿地や周辺海岸林には希少動植物が確認されています。

また浜松市では、「マリンスポーツの聖地」として2018年3月正式にビーチマリンスポーツ推進協議会を発足しました。沿岸地域も魅力溢れる景観が求められています。

中田島砂丘は年間約5mの浸食によって200m後退し、埋められた瓦礫ゴミが流出するなどの問題があります。行政の養浜事業で対応していますが解決にいたってならず、このままでは、やがて砂丘が無くなると言われてます。

さらに大地震に備え、17.5kmの高さ13~15mの巨大防潮堤工事が中田島砂丘の真ん中を横断しました。今、しっかりとこの問題に向き合えないと今後、後悔する景観や生態系になってしまうかもしれません。中田島砂丘にある様々な課題をい方向へ向かわせるのは、私たちの責任ではないかと思ひます。海岸保全活動を通して、様々な角度で砂丘の魅力を発信していきたいと思ひます。

中田島砂丘は私たちのかけがえのない財産です。中田島砂丘を未来の世代へつなげるためにも、中田島砂丘の「いま」について知り、学び、話し合って今できることを実践していきたいと思ひます。

### ②徳川家康が植えた浜松市木「松」、海岸松林の再生、保全

市木「松」は、東海道・姫街道や山、沿岸部に植栽され「浜松市」にもっともなじみ深い樹木です。湖岸や海岸では防風林、防潮林として砂塵、塩害から住民生活や田畑を守ってきました。しかし昨今のマツクイムシの影響から市内の松が激減しています。今日までの「松」の歴史・性質を調査し、これからの「松」について何をすべきかを考え、「松」の再生に向けて学び実践していきます。

浜松市遠州灘海岸で大規模な防潮堤工事が建設され、そのため多くの海岸林が伐採されました。海岸林の再生のために5年前から、本校も法面への植樹を行っています。また学校に畑を作り、抵抗性松の苗木を育て松枯れに強い松苗の研究をしています。松枯れや防潮堤建設によって無くなった海岸林を寂しいだけで終わらせず、自ら出来ることを考えて、地域住民の関心も高まるように活動を継続していくことが目標です。

また、浜松市の松の文化を深く知り学んでいくためにも、3年前より指定文化財の東海道、姫街道の松並木を清掃しながら保全活動を行っています。



### 砂浜が、年に5m後退！



砂浜の浸食  
年間 約5m

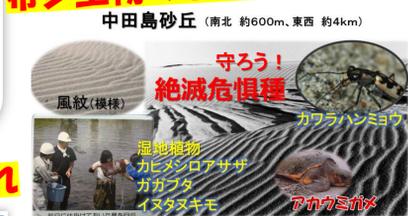
砂が無くなる？



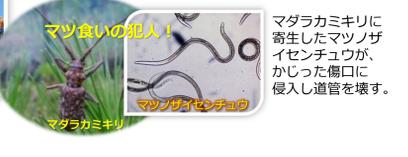
### 巨大防潮堤が横断



### 希少生物のホットスポット



### 止まらない松枯れ



## 課題解決に向けて



### 震災の教訓



### 「奇跡の町」づくりのために



## ~みんなでつくろう~ 里浜プロジェクト



### 松のシンポジウム開催

市民団体と協働で、樹木医、林業種苗関係者、行政など主要な団体を招いて今後の海岸松林の在り方「戦略的環境アセスメント」を実施（H25年9月）

### 小・中学生へ啓発講座

### 砂丘クリーン&音楽ライブ



### 防潮堤へ植林



### 海岸林の管理



### 防潮堤工事による環境影響調査



## 新たな課題へ挑戦

### 抵抗性クロマツの研究・生産



### 命を守る防潮堤管理



平成25年度より、7年にわたる17.5kmの防潮堤工事が、令和2年3月31日をもって竣工した。4年前に植えたクロマツは、私たちの背丈を超えていた。

### 海浜植物による飛砂防止↑

砂丘浸食問題は、下流地域だけでは解決できない難しい問題ですが、啓発も込めて、継続的にクリーン運動や浸食問題、生態系、防潮堤工事と広く中田島砂丘に関わる問題調査に取り組んでいます。災害に強い美しい海岸林を目指して、市木「松」の松枯れ問題にも注視し、強い抵抗性遺伝子のクロマツの育芽。右：在来海浜植物の種子を採取し、保全したい砂浜に播種して植物で覆う作戦。



オイスカ高等学校は、国際NGOオイスカ・インターナショナルを設立母体として、その理念に基づいた「自然の恩恵に感謝し、国際社会に貢献できる心豊かな日本人を育成する」を教育目標に活動を実践しています。浜名湖のほとりの豊かな自然環境に恵まれ環境学習にも力を入れています。

主な協働団体  
海岸侵食災害を考える会、根っこの会、ネイチャークリーン、海岸侵食災害から住民を守る会、中田島砂丘ネットワーク、浜松の海を守る会、ヤマハ発動機株式会社、中村建設株式会社、浜松南高校 生物部、防潮堤への植栽後も生育状況を調査するため、「浜松市沿岸域防潮堤整備に係る植栽管理の活動」に関し、静岡県浜松土木事務所、静岡県西部農林事務所、浜松市林業振興課と協定をH28年11月より締結（5年ごと更新）

- 静岡県海洋プラスチックごみ防止「6R県民運動」賛同登録
- 浜松市SDGs推進プラットフォーム会員として、環境SDGs教育を推進



「小さな親切運動」実行章受章式